

2025年度 弘陵造船航空会/交流会 報告

(第55回総会及び第48回講演会)

1984年(昭和59年)卒 伊東 章雄

2025年度弘陵造船航空会・交流会が、2025年(令和7年)5月17日(土)11:00 から開催されました。今回は、昨年度までのコロナ禍を考慮した“Zoom”によるオンライン開催から、横浜崎陽軒本店での総会・講演会・懇親会の同時開催とし、従来の形式に戻すことができました。

今回の交流会の司会進行は、事務局のご指導・ご支援の下、担当年次である1984年卒のクラス幹事の伊東が担当しました。

本報告を行うにあたり、交流会の準備・運営に多大なご指導とご支援をいただいた、宮村会長をはじめ役員・事務局の方々に心より御礼を申し上げます。

以下に交流会の報告をいたします。

1. 開催日時 2025年(令和7年)5月17日(土)11:00 ~ 14:30
2. 開催方式 横浜崎陽軒本店での対面方式(オンラインは無し)
3. 参加者 総会/講演会 37名
4. 第55回総会 11:00 ~ 11:40

(1) 宮村会長挨拶

開会にあたり、宮村会長からご挨拶をいただきました。その概要は以下のとおりです。

- 米国トランプ政権発足により政治、経済、軍事、社会等の全般に渡って、世界中が振り回されている。一方で、現在、日本企業には膨大なデータが保管されているが、その一部は米国IT企業のデータセンターに預けられているものもある。日本の重要情報は自ら守るとの観点で、NTTによるNTTデータグループの完全子会社化や、横浜国大工学部卒業の高橋さんが会長を務めるKDDIも日本電気と連携してデータセンター事業に注力なども動きも出てきており、日本政府や日本企業が自ら重要情報を守ることを願うばかりである。
- 当会は長引くコロナ禍の中、暫く交流会をWeb開催していたが、今年からアクセスの便利な本会場を選び、従来どおり総会と講演会と懇親会を合わせた交流会形式で開催した。
- 本総会では、今年度の活動報告と決算報告、今年度の活動計画案と予算案、さらには今年度の役員人事案についてご審議され、その後、最近の教室について宮路先生からご紹介いただきます。

(2) 逝去者の報告と黙祷

開会の辞に続き、2024年5月11日から2025年5月8日までに、事務局までご逝去の連絡をいただいた会員の皆様に出席者全員で黙祷を捧げました。なお、当時、逝去された会員名簿の誤りがありましたので、本会報で改めて報告させていただきます。

(3) 2024年度事業報告及び会計報告

近藤理事より2024年度事業報告に関する説明、および井村理事より2024年度会計報告に関する説明がありました。特記事項として、以下の説明がありました。

- 教室・役員懇談会を2025年3月21日に開催した。
- クラス幹事会を2024年10月12日に第1回、2025年3月8日に第2回を開催した。第1回では、岡田哲男教授より「横浜国立大学大学院先進実践学環について」としてご講演をいただいた。
- 会報第64号（2024年8月）を発行し、電子版によるHP掲載とし、冊子物は希望者配布とした。
- 教室支援活動では、奨学金支給を1名、海外短期留学渡航費支給を3名に支給した。
- 地方での同窓会活動では、総務担当理事が横浜国大工学系東海同窓会（2025年2月8日）に出席し、懇親を深めた。
- 会員情報システムの運用を、当会会員限定で開始したが、本システムへのアクセス可能者は約1530名ですが、アクセス者は全体の約20%にとどまっており、メルマガ等で最周知を実施した。
- 決算報告では、一般会計では予算計画より収入は減少したが通信費等の支出を抑えることで、全体収支は僅かに赤字となったので基金会費から補った。

報告に対し特に異議はなく、2024年度事業報告及び会計報告は承認されました。

（４）2024年度会計監査報告

入江監事より2024年度会計監査に関し、問題ないことを確認した旨の報告があり、承認されました。

（５）2025年度活動計画および予算案

小林理事より2025年度活動計画案に関する説明、および井村理事より2025年度予算案に関する説明がありました。コロナ禍で中止していた各種の活動は、2024年度に再開しており、2025年度も以下の活動を行う旨の説明がありました。

- 奨学金・海外短期留学渡航費支給の継続
- 「同窓会活動活性化のための地方支援活動」の実施
- 特別活動として、同窓会活動の活性化、教室創設100周年（2029年）記念事業の検討開始を行うこととした。

報告に対し特に異議はなく、2025年度活動計画及び予算案は承認されました。

（６）2025年度役員人事

宮村会長から、次の役員人事案が提案され、特に異議はなく、2025年度役員人事案は承認されました。なお、新任は教室代表理事（宮城幸二教授）、総務担当理事（秋永 清）、監事（堀沢真人）で、当日参加の宮城先生、堀沢氏から挨拶をいただきました。

役 職	氏名（敬称略）	横浜国立大学卒業年次等
会長	宮村 弘明	1976（昭和51）年学部卒業
副会長	脇屋 元	1979（昭和54）年学部卒業
教室代表理事（新任）	宮路 幸二	海洋空間のシステムデザインE P教室教授
総務担当理事	井村 章夫	1977（昭和52）年学部卒業
総務担当理事	小林 敬幸	1982（昭和57）年学部卒業
総務担当理事（新任）	秋永 清	1987（昭和62）年学部卒業
監事	鳥海 憲彦	1975（昭和50）年学部卒業
監事（新任）	堀沢 真人	1980（昭和55）年学部卒業

(7) 大学（教室）の近況及び弘陵賞受賞者紹介

宮路教室代表理事から、教室の現状と将来として、教室の体制では、2021年度に開設された先進実践学環（文理融合教育・Society5.0関連研究）の学環長に岡田哲男教授が就任、船舶海洋工学棟の大規模改修の終了等の説明がありました。

卒業式・修了式にて、宮村会長より本間美由紀希君（修士論文）、米田壮良君（卒業論文）に弘陵賞の授与と祝辞のスピーチが行われたことに対し、謝意が述べられました。

以上をもって、弘陵造船航空会第55 回総会は閉会しました。



宮村会長挨拶



宮路教室代表理事報告



交流会風景

5. 講演会 11:40 ～ 12:40

第48 回講演会は、石川寛樹氏（海洋産業タスクフォース副委員長/運営委員会委員長、日本船舶技術研究協会理事長/元JMU副社長）（1977年学部卒）より、「風力発電事業 —サプライチェーンに関する課題と提言」と題し

て、今後の再生可能エネルギーの主力電源として期待される洋上風力発電を普及におけるサプライチェーンの視点での講演が行われた。

海洋産業タスクフォースは、国の総合海洋政策本部の枠組みの中での情報交流の場である「海洋資源開発技術プラットフォーム」と連携する民間有志による任意団体で、これまでも様々な提言をおこなってきた。

2022年度は、「浮体式洋上風力発電の商用化に向けたロードマップ策定」として、

- 浮体式洋上風力発電の構成機器、建設機材のみならず、部品供給、サービス業務等全てを対象に実態調査し、国産化への技術課題、参入課題、要望を把握・分析
- 各分野の課題と解決策への取組・提言を整理し、ロードマップを策定

した。特に前提となる浮体式風力発電の2050年までの導入目標を仮設定し、

- 浮体式特有の浮体製造、組立・設置は実現シナリオを描き、具体的なロードマップを検討
- 風車製造では国内製の部品・部材等の採用拡大に向け認証取得等課題の深掘り、解決策を提案
- 最終的には、国内製大型風車製造再開に向けた道筋を関係団体と共に検討

した。

2025年度から活動再開し、国内サプライチェーンの早期確立に向けた戦略的な取組とそのロードマップの実行は急務であり、サプライチェーンの実態を詳細に調査し、戦略的な施策、政策を検討する。この活動では全ての構成部品(組立設置、O&M除く)に対し、戦略的に「新規開発、育成・強化、海外購等」に区分し、その投資規模、時期に関わる優先順序や、その早期実現に向けた支援・補助金制度等、国が主導すべき政策などを提言していきたい。

講演後、梅原学長より、横浜国立大学でもコンクリート製浮体の研究が行われていること、また、この国の洋上風力発電が実現に向けては多くの課題はあるが、将来の水素社会への展開などの大きなビジョンの構築への期待が述べられた。



講演会講師 石川寛樹氏

2025年度 弘陵造船航空会/懇親会 報告

1984年（昭和59年）卒 伊東 章雄

2025 年度弘陵造船航空会・交流会の懇親会が、総会に引続き、開催されました。

最初に本会の宮村会長から開会のご挨拶を頂き、引き続きご来賓を代表して、横浜国立大学学長の梅原出様と名教就美会会長の永井孝雄様からご挨拶をいただいた後、名教自然会会長の永井孝雄様の御発声で乾杯を行い、歓談の場へと移っていきました。参加者は38 名でした。



梅原横国大学長のご挨拶



永井名教自然会会長による乾杯



坂井工学系東海同窓会事務局長の報告

しばしの歓談の後、工学系東海同窓会事務局長の坂井敏雄様より東海同窓会の活動状況、1965年卒の皆様が同期会で仲間を偲ぶ動画（[YNU フォーマル会「卒業後60年記念の宴」を終えて](#)）などが紹介されました。



1965年卒同期会で仲間を懐かしむ動画



2025年卒の参加者の抱負紹介

また、今回、2025年卒の小西璃空君、福田皓平君、向井駿介君、久野修志君、米田壮良君の5名から、今後の抱負の挨拶がありました。

最後に、1958年卒で、現在も小田原男声合唱団でご活躍されている柳田圭一様の音頭で学生歌「みはるかす」を全員で合唱後、脇屋元副会長の中締めにて、懇親会はお開きとなりました。



柳田圭一様（1958 年卒）の音頭で「みはるかす」斉唱

以 上